

（令和7年9月24日発表）

「しりあがり寿」氏の講演会開催

◆ アピールポイント	◎高齢者学級「みのり大学」全16学級の学級生約830人の第2回合同講演会です。年に1回グランシップ中ホールに一堂に会しての講演会です。 ◎講師のしりあがり寿さんは、静岡市出身で、漫画家、大学の客員教授、非常勤講師をされている方です。講演会では、漫画の世界、アートの世界に大いに触れることができ、また高齢者にとって漫画やアートへの新しい見方や発見につながる機会となります。 ◎講師自身が生み出した静岡市葵区のキャラクター「あおいくん」の誕生秘話も聞くことができます。
◆ 日時・期間	令和7年10月1日（水）13時30分～15時30分
◆ 場 所	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ 中ホール（大地） （駿河区東静岡2丁目3番1号）
◆ 内容など	《プログラムの次第》 1 主催者挨拶 静岡市市民局長 2 講演 3 お礼の言葉 ■講演 演題 「ものがたりとマンガ」 講師：しりあがり^{ことぶき}寿さん（漫画家 神戸芸術工科大学客員教授 横浜美術大学客員教授 日本大学芸術学部非常勤講師） ■みのり大学とは 静岡市が社会教育事業として実施している高齢者学級です。高齢者が新たな知識、技術を学ぶと共に、仲間づくりや異なる世代間の交流をとおし、豊かな人生を送ることを目的とした連続講座（各学級18回）で、葵区、駿河区の生涯学習センター等で16学級開講されています。
◆ 対象・人数	みのり大学 全学級生 16学級 約830人
◆ そ の 他	一般聴講者の募集はありません

別紙資料 有
ぜひ当日取材をお願いします。

【問合せ】生涯学習推進課 人づくり事業推進係
（静岡庁舎新館15階）
担当 油井・村田
電話 054-221-1207

しりあがり 寿 氏

静岡市葵区出身 1958年1月生まれ 県立静岡高校、

多摩美術大学卒、ビール会社に勤務する。

1985年「エレキな春」で漫画家デビューする。

パロディを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家

として注目を浴びる。1994年独立。



その後、幻想的あるいは文学的な作品など次々に発表。2000年「時事おやじ2000」(アспект)「ゆるゆるオヤジ」(文芸春秋)で文芸春秋漫画賞。2001年「弥次喜多 inDEEP」(エンターブレイン)で手塚治虫文化賞優秀賞受賞。また、新聞の風刺4コママンガ(2002年朝日新聞夕刊で「地球防衛家のヒトビト」連載)から長編ストーリーマンガ、アンダーグラウンドマンガなど様々なジャンルで独自の活動続ける。2005年「真夜中の弥次さん喜多さん」(マガジンハウス)を発表。この作品は宮藤官九郎氏により映画化(2005年)された。2006年静岡市葵区キャラクター「あおいくん」デザイン。2014年紫綬褒章受章。近年では映像、アートなどマンガ以外の多方面に創作の花を広げている。2017年発表「ちょっと可笑しなほぼ三十六景」(発刊2018年)は北斎に対するオマージュ作品。「神奈川冲浪裏」の大浪と富士を、太陽フレアと地球に描き換えたり、「尾州不二見原」の桶職人が作る丸桶を、メビウスの輪にアレンジしたり、北斎の「富嶽三十六景」全46図にパロディを加えた作品を発表した。

【主なテレビ出演】

- ・2002年 課外授業ようこそ先輩「キャラクターを創ろう」(NHK 総合)
- ・2013年 こころの時代「あの日のマンガを読む」私にとっての「3, 11」(NHK 総合)
- ・2024年 歴史探偵「江戸の大ヒットメーカー 歌川広重」(NHK 総合)

【上記以外の主な著書】

- ・2009年「方舟」(太田出版)
- ・2011年「ジャガランダ」(青林工藝舎)
- ・2011年「あの日からのマンガ」(エンターブレイン)
- ・2021年「くる日もくる日もコロナのマンガ」(KADOKAWA)
- ・2022年「しりあがり×北斎ちょっと可笑しなほぼ三十六景」しりあがり寿作品集(小学館)

【展覧会等】

- ・2020年「古典×現代2020—時空を超える日本のアート」国立新美術館開催のなかで「ちょっと可笑しなほぼ三十六景」発表
- ・2024年 しりあがり寿展「青オヤジと赤オヤジの争いの末に温泉わく話」GalleryQ 東京銀座
- ・2025年 フランクフルト応用芸術美術館「A Floating World」展 出展